

立志式

今年は南中生32名が志を立てました



令和8年2月 第139号



～南中生が町の未来を考える～ みらい南小国子ども会議

1班 町の人口を増やすには！？

南小国町では少子高齢化で人口が減り続けている。他自治体での少子高齢化対策について学び、本町での対策を調べ、様々な活動があることを知った。

「住みたくならないような町とは？」
飲食店における具体的な工夫について提案。
子どもたちが喜ぶようなメニューや楽しめるグッズの工夫でお店の人気度をアップできるのでは!?

町の魅力は豊かな自然。いつまでもその自然を守っていききたい。



発表者：
下城大機さん
泉 陽登さん
橋本 雫さん
木村心愛さん
竹下咲音さん

答弁：少子高齢化対策は大変重要な問題です。このことは様々な課題に繋がります。皆さんの計画で町の人口が増加することに期待します。

2班 交通の発展のためバスの魅力度アップ！

町にすでにあるバスを活かしたいと着目。
バス利用について運営を黒字にするための二つの提案をした。

- ①小国郷ライナーの運行日の変更…観光客や町民の利用状況から運行を休日に集中しては？
- ②スタンプ制の導入…割引券や景品を活用。
利用者の増加、観光客の増加を目指す。

活気溢れる町にするために人の移動は重要。
交通から人の繋がりを広げたい。



発表者：
安藤優芽さん
井 琉夏さん
井 禪氏さん
高村笑多さん
甲斐楓彩さん

答弁：公共交通は難しい課題の一つ。提案を実証実験という形での取り組みに向け、小国郷公共交通会議で議論できるように努力したい。

3班 フリースペースで理想の町に！

町で増えている廃墟の様な土地の活用、町民が望むお店の設置という課題に対し解決策を提案。

- ①廃墟になった土地をフリースペースとして活用。あずまやや日陰を作り人が集える場に。
- ②そこには安全面を配慮し人工芝を張る。
- ③無人販売店を設置し町の特産品を販売する。

JA 跡地活用への提案～半分を駐車場、残りをフリースペースと無人販売所に。町に愛着を持ち、広く知ってもらえるきっかけにもなる。



発表者：
本田愛莉さん
河津優香さん
佐々木鳳雅さん
武田康之介さん
椎名陽色さん

答弁：使われず荒れた土地の有効活用は大切です。JA跡地も今、基本構想が出来つつあります。皆の提案が採用されるといいですね。

南小国中学校の3年生が町の未来を考え、意見をまとめ、町執行部や議員に提案する「みらい南小国子ども会議」が12月10日に開催されました。今年には6つの班からの提案がありました。各班の提案内容をご紹介します。



4班 祭りで更なる活気を！

町の観光客を増やすため観光業を発展させたい。
南小国町全体の認知度を上げたい！
町のお祭りの巨大化を提案。

- ①町内産野菜を使用した屋台で映える料理で町のコマーシャル！
- ②ナイトバブルの実施。綺麗な町的话题を拡散。
- ③大手の酒造メーカーと協力してビアガーデンを行い、町外からお酒を飲める若者を呼び込む。

町の魅力発信！今以上に活気溢れる町にしたい。



発表者：
鞭馬紗也さん
杉安柊哉さん
穴井うみさん
高木創太さん

答弁：実現するには飲酒後の宿泊や交通など課題もあるが、まちづくりには皆さんの知恵と力が不可欠。協力をお願いします。

5班 農林業の活性化へ向けて

農林業は町内で一番多くの人に関わる産業。町をより良くしていくため活性化へ向け二つの提案。

- ①南小国町の農林業を主とするサイトを作る。
野菜の見どころや農家を紹介。農業の魅力を最大限に引き出す。
- ②シネアド（映画上映前の広告）を利用する。
町の農業に関するCMで若い世代の興味をひく。
制作費や上映費用はクラウドファンディングを活用。お礼に野菜などを提供しファンを獲得。



発表者：
浅野煌斗さん
穴井なつさん
武田晴道さん
白水萌愛さん
日隈愛萌里さん

答弁：「シネアド」は思いつかなかったアイデアで、費用対効果まで検討していて素晴らしい提案。活用を考えたい。

6班 南小国の認知度アップを！

人気スポットは沢山あるが、「南小国」は「阿蘇」の一部のイメージ。南小国をもっと知ってもらいたい。認知度を上げるための三つの提案をした。

- ①南小国でできる体験をふるさと納税で販売する。
- ②繋がりを増やすために有名人を呼んだイベントを増やす。また、外国人との交流授業を行う。
- ③ SNS の活用。南小国町では公式 LINE しかないが若い人はインスタグラムの利用も多いので公式インスタグラムを開設する。
町をもっと知ってもらい、好きになってもらう！



発表者：
松本真翔さん
北里朋子さん
橋本叶翔さん
藤崎虎次郎さん

答弁：南小国町の認知度を高めることは大切だ。いただいたご提案を関係者と協議し、できるところから進めていきたいと思う。

令和7年12月9日
第4回定例会

12月定例会が9日から12日の会期で開催されました。専決が1件、補正予算が5件、条例改正等が6件、人事が1件、契約が3件、陳情が5件提出され、いずれも承認・可決しました。

令和7年度12月補正予算

3億6005万円を可決

	補正額	補正後予算額
一般会計(第8号) ※専決	3億円	65億5658万円
一般会計(第9号)	△595万円	65億5063万円
国保特別会計(第3号)	105万円	5億6057万円
介護保険特別会計(第2号)	102万円	7億3109万円
簡易水道事業会計(第7号)		
収益的支出	53万円	1億6627万円
資本的収入	6270万円	3億6573万円
下水道事業会計(第4号)		
収益的支出	70万円	2億4176万円

*万円未満四捨五入

主な補正予算

一般会計補正(第8号)	
ふるさと納税返礼品送料等	2467万円
ふるさと納税業務委託料	1億2533万円
基金積立金	1億5000万円

一般会計補正(第9号)	
定額減税調整交付金	△467万円
最適土地利用総合対策事業	1300万円
町道改良工事他	△6600万円
現年度農業用施設災害復旧工事	956万円

●補正予算

主な審議

▼佐藤議員 11月末現在のふるさと納税の寄付額実績と12月の予想は？

【答】 11月末の実績は10億1507万円。12月には12億円超の寄付を見込んでいます。

▼森永議員 湯田にある、きのこセンターの休業については9月議会で「事業に興味がある方がいる」という答弁だったが、その後の進展は？

【答】 具体的な相談まではなかった。土地所有者とも今後について協議しているところである。今年度中には結論を出したい。

▼穴井秀房議員 最適土地利用総合対策事業としてジュニパーベリーの苗の購入費が計上されているが、まだ説明会が続いている段階で予算を計上する必要があるのか？また、購入する苗は貸付けなのか配布なのか？

【答】 大字中原を対象とした説明会を開催したところ、早速取り組みたいという要望があったので予算化した。なお購入する苗は町の所有

物なので5年間は貸付けて、その後は払い下げる。

▼下城議員 町は特産品としてジュニパーベリーの生産を推奨したい意向だろうが、除草や獣害対策には多くの労力が必要である。本気で特産品にしたいのであれば会社を設立するくらいの意気込みが必要ではないか？

【答】 新たな取り組みであり町としても手探りの状況で進めているところである。地元・有識者・企業等の協力を仰ぎながら、試行錯誤してでもこのプロジェクトを成功させたい。

▼穴井則之議員 当初はジュニパーベリーの実が反あたり20万円の収入になるという説明だったが、実際の買取り額はその4割の8万円だと聞いた。これでは生産意欲の低下に繋がるのではないのか？

【答】 買取り額は事業主体であるシン複合型農業実践協議会の試算によるものであり、運営費や機械導入費等を考慮し算出した結果、4割という数字になったと聞いている。将来的には農村RMO(農村型地域運営組

織)への移行も視野に入れながら、地域の活性化と生産意欲の向上に繋げていきたい。



→ジュニパーベリー苗の植樹祭(大字中原三村野の町有原野)

▼佐藤議員 入湯税検討会報奨金を減額した理由は？

【答】 入湯税に限らず宿泊税の導入なども含めた観光財源の確保へ向けた検討を行う必要があることから、新たに「南小国町持続可能な観光地づくり財源検討委員会」を立ち上げることであったため。

▼井野議員 国から物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が交付されることとなっているが、どのような形で町民へ配布するつもりか？

〔答〕 どのくらいの額が交付されるかわからないので現時点では何とも言えないが、可能であれば現金給付ではなく、くらし応援券のような形で商品券を配布したい。

▼北里議員 町内には空き家が120～130戸あり、そのうち使えるのは20～30戸で残りは解体するしかないとのことだが、解体費用の補助などはないのか？

〔答〕 管理不全空き家※に該当すれば補助が出る制度はあるが、通常の解体に対する補助は今のところない。とはいえ空き家を放置するのは防犯上好ましくないの、何かしらの対策について空き家対策協議会で意見を募りたい。

※管理不全空き家とは適切に管理されておらず、そのままでは倒壊の危険や衛生上有害なおそれのある空き家のこと。

▼森永議員 子育て世帯訪問支援事業が増額になった理由は？妊娠中や産前産後でも訪問ヘルパー事業を活用できるようにできないか？

〔答〕 対象者の実需により増額。妊娠・産前産後の支援の必要性は認識しており、社協ヘルパーの活用も検討の余地があるが、需要の把握や人員確保も考えていく必要がある。

●条例改正等

◆一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

〔改正内容〕

熊本県人事委員会勧告に準じた改定

◆消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

〔改正内容〕

消防団の再編に伴う改正

◆子ども・子育て会議条例の一部改正

〔改正内容〕

子ども・子育て支援法の改正に伴う改正

◆乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

〔改正内容〕

特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定

〔改正内容〕

〔条例の内容〕

保育所等に通っていない0歳6ヶ月から満3歳未満の子どもを対象とした「子ども誰でも通園制度」の創設に伴う条例

〔以上原案可決〕

●契約

◆役場職員用ノートパソコン等機器購入

契約金額 1032万円

相手方 富士フィルムビジネスイノベーション

シャパン株式会社

◆小中学校GIGAスクール用端末(LTE)購入

契約金額 4348万円

相手方 NTTドコモビジネズ株式会社

〔主な審議〕

▼佐藤議員 タブレット端末の入替えだが、古い端末はどうなるのか？

〔答〕 問題なく使える物については防災関係で何か活用できないか考えている。

▼後藤議員 使えない端末を処分する際、個人情報流出しないよう対策をとっているか？

〔答〕 一括集中管理を行っているので、内部データを消去して漏洩しないようにしている。

◆簡易水道事業(市原地区)新規水源機械・電気設備工事

契約金額 8360万円

相手方 プライムシステム株式会社

〔以上原案可決〕

●陳情

◆安全・安心の医療・介護提供体制を守るため、すべてのケア労働者の処遇改善につなげる報酬10%以上の引き上げを求める陳情書

◆介護保険制度の抜本改善、大幅な処遇改善を求める陳情書

◆夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現を求める陳情書

◆臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情

〔以上配布のみ〕

◆「町道志津志童子線道路改修工事」依頼

〔委員会付託〕

◆人事

◆教育委員の任命

扇 佐藤 徹氏

〔同意〕

12月定例会(12月9日～12日) 採決結果

議案番号	事 件 名	採 決 結 果	下城孔志郎	北里桂一	佐藤 毅	森永一美	井野和哉	後藤六男	穴井秀房	穴井則之
委員長報告 付託議案 陳情第4号	総務文教常任委員会 令和7年付託 「南小国公民館満願寺分館」空調設備(エアコン)設置依頼	一部採択 (賛成多数)	○	○	○	○	×	○	○	○

○…賛成、×…反対、欠…欠席 ※賛否の分かれた案件のみ掲載。



佐藤 毅 議員

Q どのようにして、地域の維持・振興に取り組んでいく？

A 地域の課題を把握し、必要な支援をする



施設の老朽化が進む
市原保育園



園児の減少が続く
中原保育園

問 中原保育園の在り方検討委員会での議論の状況は？

保育課長 市原保育園への統廃合という方向で進めている。

問 中原保育園が無くなった時の中原地区への維持・振興策は考えているか？

町長 統廃合された場合の施設、跡地の活用は考える。公共交通においても利便性を高める取り組みは必要。

問 地域維持の仕方に地域運営組（RMO）が推奨されているが、検討されたのか？

農林課長 中原地区において、土地利用対策や担い手確保、後継者への集約等に取り組む、最終的には農村RMOとなるよう検討協議している。

問 地域担当職員の配置はできないか？

総務課長 町外出身の職員も多くなったので考えてみる。

問 地域活性化に向けた財政支援をお願いしたい。

総務課長 来年度から以前行った補助金制度を見直し、実施する。



「出典：農林水産省 HP」

Q 今後の農畜産業の振興をどう考える？

A 国の交付金の活用や、町の担い手支援補助金を現状にあった内容で使いやすく将来の農業経営を支える



穴井 秀房 議員

Q 農地基盤の維持について

A 地域の実情に即した基盤整備を進め、安心して農業を営める環境を整えたい

問 先日、町内で農畜産業をしている有志皆さんと、町との意見交換会を開催。それぞれに厳しい現状や町への意見等を伝えてもらった。町長は将来に向けての投資や経営改善に繋がる助成をしていくとの回答であったが、中山間地での厳しい状況の中、離農していく者も増える状況にどのように対応していくかを詳しく示して欲しい。

町長 農業における様々な問題と厳しさを改めて認識した。要望のあっている助成金については、国の重点

問 現在は多くの関係者の手作業により、用水路等の維持が保たれているが、主力世代がリタイアし労力不足により、維持できず耕作放棄地が増えている状況。国県の事業は少なく事業待ちとなるため、町単独での基盤整備事業が実施できないか？

町長 指摘どおり深刻な状況であると認識しており、

支援交付金の内容を踏まえ速やかに補正予算等で対応したい。また現在実施中の町単独の担い手補助金も来年度に向け、より使いやすいものになるよう制度改正を進める。

また農畜産業、林業それぞれの従事者の未来に繋がるような投資であれば、ふるさと納税基金等の使途にも合致するので財源をしっかりと確保した予算編成を考えたい。

強く同感する。この問題は農業生産を支えるだけでなく、観光資源や地域景観に繋がる。

国の補助事業では予算が限られるため、町単独での補助や技術支援を併せて検討する。



北里 桂一 議員

Q PPP・PFI（官民連携）の導入は？

A 可能性調査を行い活用も視野に入れる

問 本町では今後建設が予想されるJA跡地や2年後に立て替え予定の給食センターや定住者や移住者の住宅等の建設が必要と思われるが民間資金活用法による通称PPP・PFIを活用しての導入は考えられないか？

町長 本町において優先的検討規定は作成していないがJA跡地については8年度に基本計画の策定、それを踏まえてのPPP・PFIの可能性調査を行い活用も視野に入れている。

問 特にPFI手法は行政が運営管理する上での費用を非常に削減出来る事で内閣府が推奨している事業である。産山村において独身者住宅を始め3期目の公営住宅等の再編住宅を公募型プロポーザルでの公募を始めており一括発注する事により経費を削減する事が出来るのではないか？

PPP(Public Private Partnership)

公共施設等の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的使用や行政の効率化等を図るもの。

PFI(Private Finance Initiative)

PFI法に基づき、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。

公共施設等運営権制度を活用したPFI事業（コンセッション事業）

収益施設の併設・活用など事業収入で費用を回収するPFI事業
(収益型PFI事業)

公共が支払うサービス購入料で費用を回収するPFI事業
(サービス購入型PFI事業)

指定管理者制度

包括的民間委託

公的不動産活用事業

「出典：国土交通省 HP」

総務課長 色んなものに活用可能であり経費が削減出来る、利便性があれば活用していく。

建設課長 移住定住の分野も含め可能性を踏まえて考えていく。



後藤 六男 議員

Q 町の林業の担い手はどうなるか？

A 地域おこし協力隊の活用や子どもたちへの木育活動を進める

問 まず南小国の林業の現状と高齢化する一人親方の後継者、森林環境税の交付額と使途として林業再生に向けての具体的な計画、展望を聞きたい。

町長 町の山林伐採面積は令和6年度46・90ヘクタール、10年前の16・06ヘクタールの3倍近く増加、生産額は伐採積載量3万4461立米に対し約3億9600万円の生産額。町に登録されている一人親方のうち約5割の方々が5年以内の引退を検討していると調査結果が出ている。次に森林環境譲与税交付額は令和6年度3356万1000円、主な用途として森林所有者への意向調査、木育活動の取り組み、林業機械導入等に支出している。

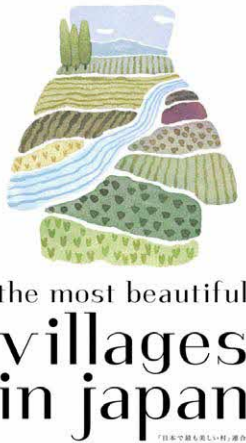
町では、地域おこし協力隊制度を活用し現在5名の隊員が林業の担い手になる活動を進めている。将来を担う子供たちへの木育活動を行い、企業や町外の方々と山林を整備する森づくり協定を締結している。



木育教室



森林組合の共販所に運ばれる丸太



「美しい村」づくり事業補助では、景観保全や特産品開発、人材育成等の活動を支援している（補助率5～8割／最大200万円補助）

「日本で最も美しい村」づくり事業補助金採択件数・金額一覧

年度	件数	支払総額
H28	5	402万3400円
H29	3	149万3000円
H30	4	586万7000円
R 1	3	332万5000円
R 2	※募集なし	
R 3	4	360万5000円
R 4	4	457万7000円
R 5	3	600万円
R 6	3	600万円



森永 一美 議員

Q 日本で最も美しい村であり続けるため、今後の展望は？

A 住民・関係団体と連携し、地域資源の保護と発展に繋げる

問 創設時から加盟している「日本で最も美しい村連合」が20周年を迎えたが、本町のこれまでの取り組みと今後の展望は？

町長 景観条例や景観計画を策定し、景観の維持・保全と創造に取り組んできた。今後も関係団体や住民と連携し、地域資源の保護と発展につなげたい。

問 町内のボランティア活動を一覧にして全戸配布しては？

まちづくり課長 何らかの形で提供したい。

問 楽天との協定を活用して、ボランティア参加者に楽天ポイントを付与しては？

町長 楽天と会議し模索していく。

問 ①河川内の堆積土砂の撤去、道路沿いの草木の管理②道路沿いの劣化した看板への対応は？

建設課長 ①毎年県に要望を上げている。いかに安全性と景観を守っていくかが課題。

まちづくり課長 ②設置者が様々。確認し更新したい。

Q 町の災害対策は万全か

A 自治体・民間事業者とも協定を締結している



井野 和哉 議員

Q 南北共有財産、今後どうしていく

A 今後、具体的に検討し、小国町と協議する

問 この共有財産は、どのような経緯で維持管理をするようになったのか。

総務課長 現在の小国高校を、両町で設立したことから始まっている。ごみ処理場や火葬施設など、阿蘇広域行政事務組合に引き継いだ以外の財産を、両町で管理している。

問 火葬施設は町内の敷地にあるが、所有はどうか？

町長 土地の全てが小国町内であり、今後の費用負担を鑑みると、権利を小国町に譲渡も検討していく。

問 町外の職員が多いが、災害が発生した場合、発生1時間以内に何名くらいが役場に集まるか。

総務課長 防災訓練の際に32名の職員が集まった。

問 災害の状況にもよるが、この人数で避難所開設や対策本部の設置は可能か。

総務課長 何名いればというのはないが、集まった職員で対応できるように対処している。

問 消防団員数も減少し、災害現場を経験している団員も少なくなっている。実践に即した訓練が必要ではないか。

総務課長 一連の訓練を毎回するより、座学やいろいろなものを変えていく必要があると思う。

問 災害によっては広域連携も必要になると思うが。

町長 自治体間の協定だけでなく、災害時に重要となるものについて取り決めを定めている。今後さらには非常時の備えに取り組んでいく。

総務文教常任委員会

六井 則之

令和7年9月5日付けで志津自治会より提出されました「南小国公民館満願寺分館空調設備（エアコン）設置依頼」につきましては、9月議会で総務文教常任委員会に付託されましたので、11月18日に現地を視察しました。

町内には旧小学校区を対象とした6つの公民館があり、そのうち施設があるのは満願寺分館、波居原分館、星和分館となっております。今回陳情がありました満願寺分館は指定避難所ですが、夏季は室内が高温になり避難者にとっては熱中症の危険性が高まることから、大会議室については空調設備が必要であると判断し、委員会としては「一部採択」とすることに決定しました。



不採択とした小会議室



採択した大会議室

令和7・8年 議会日誌

11月	7	町村議会広報研修会
	12～13	町村議会議長全国大会
	15	すぎのこまつり
	18	総務文教常任委員会
	25	阿蘇地域の道路整備に関する要望
	27	阿蘇地域育樹祭
12月	28	議会運営委員会
	7	きよら人権デー
	9～12	令和7年第4回定例会
	10	みらい南小国子ども会議
	12	議会広報調査対策特別委員会
	22	阿蘇広域行政事務組合議会定例会
1月	23	小国公立病院議会
	25	中九州横断道路広域シンポジウム
	3	二十歳を祝う会
	6	消防団出初式
	14	令和8年第1回臨時会
	15	立志式
	15	菊池郡・阿蘇郡町村議会議長会研修会
	16	阿蘇市町村議会議長会総会
	20	熊本県町村議会議員研修会
	21	議会広報調査対策特別委員会
	26	経済建設常任委員会
	26	議会広報調査対策特別委員会

阿蘇広域行政事務組合議会

北里 桂一

令和7年第3回阿蘇広域行政事務組合議会定例会が開催され、令和6年度決算が承認されました。南小国町の負担金は2億5127万円となっており、内訳は以下のとおりです。

一般管理費	635万円
介護保険対策費	486万円
障害支援対策費	43万円
火葬施設事務費	29万円
北部火葬施設費	876万円
環境総務費	94万円
清掃施設運営費	6202万円
最終処分場運営費	325万円
北部清掃費	1522万円
北部し尿処理費	3282万円
消防費	1億1633万円
合 計	2億5127万円

◆×◆×◆×◆ 特集 ◆×◆×◆×◆

『夢チャレンジ推進事業補助金』

平成29年度から始まった事業で、町内での新たな挑戦（チャレンジ）を支援する事を目的に毎年度募集を行ってきました。

これまでに32件（下記表）の事業を採択しています。

今年度からは新たに事業継承の枠を拡充し、さらなる発展を支援していきます。

この補助金により現在も活躍いただいている事業所の中からいくつか紹介します。（以降、略称の「夢チャレ」と記載してあります）

補助の概要

○ハード事業（事業開始に必要な備品購入）上限 150 万円

○ソフト事業（商品販売に向けた取り組み・商品 PR の取り組み）上限 150 万円

各事業費の 80%以内（ハード・ソフト合わせて最高 300 万円）

H29年	H30年	R1年	R3年	R4年	R5年	R6年
4件	8件	6件	1件	5件	5件	3件

ワンC A F F E

北里志保さん



町内に観光客や地元の住民が気軽に集える場所があればと思い、令和元年度に夢チャレを利用し、田の原のファームロード沿いの一角にドッグランカフェをオープン。

当初はキッチンカーでコーヒーやホットドック、パイなどを販売されていましたが、昨年増築してイートインスペースを拡大。連日、町内外のお客さんや観光客で賑わっています。なかには志保さんとの会話を楽しみに毎日のように来店されるお客さんもおられるほどです。

今後も地元の野菜やハンドメイド作品を販売するマルシェを月1回開き、地域の活性化に繋がっていきたいと話されていました。

Waku

河津美奈子さん



もともとモノづくりが好きだったそうで、南小国への移住をきっかけに夢チャレを利用してハンドメイド商品の制作や雑貨の販売を行うアトリエWaku（ワク）を開業。多彩なスキルを活かし、オーダーメイドの洋服や小国杉を使った木工品制作（キーホルダーなどの小物から大きなものは看板まで）、書道教室などを手掛けられています。

今後も小国杉の知名度アップのための事業を展開するとともに、生涯学習の教室を定期的に行い、地域貢献されていきたいと話されています。令和5年度には夫の丈太さんも夢チャレを活用し、タイヤ販売店を開業されています。

農家民宿かぐや姫の里

秋吉すま子さん



当初はグリーンストックからの依頼で子ども中心の民泊受入れをされていましたが、夢チャレを利用して改装等を行い、現在は学生さんのファームステイ（農家民泊）やスポーツ合宿のほか、ときには外国人観光客も利用されるそうです。

経営者のすま子さんの人柄も魅力の一つであり、部屋の壁には宿泊された方達からたくさんの感謝のコメントや絵が残されています。

「これからも民泊と農業体験を通し、人との繋がりを大事にして、いつでも帰れる心のふるさとでありたい」と話されていました。

たてわき ゆき
立脇 由紀さん草原の美しさに惹かれてスピード移住
“南小国愛”で溢れる、農と美の紡ぎ人

プロフィール

兵庫県生まれ、白川在住。2021年に南小国に移住後、22年から夫の良基さんと自然農法による米作りを行う。23年には夢チャレ※を活用し、エステサロン Libera (リベラ) を開業。

※夢チャレ…「南小国町夢チャレンジ推進事業補助金」の略

…南小国に移住された経緯を教えてください。

関東で夫と初めて会った時、阿蘇の写真を見せてくれました。南小国の草原の風景写真を見た瞬間に感激しました。「ここに実際にいきたい」と強く感じ、写真を見た翌月には黒川温泉に泊まりにきていました。

草原、観光名所、飲食店…南小国の色んなところに行きました。遠くの山々も足元の草花も、何を見ても美しく、どこに行っても誰と出逢っても素敵で…。当初は1泊の予定でしたが足りなくて、延泊を繰り返しました。すっかり南小国に惹かれてしまつて、数ヶ月後には移住してきました。

…エステサロンを開業された経緯を教えてください。

メイクによる肌荒れで悩んでいた19歳の時にエステに出逢い、「肌も心もこんなに変わるんだ」と感動しました。それからずっとエステの道で生きています。エステ界で世界的な賞を取られた師の元で学び、多くの方に施術させていただきました。講師としても



「社協さんへの寄付は南小国に住んでいることへの感謝の気持ちです」と話す立脇さんご夫妻

活動していました。

南小国でも長年の経験を活かして、どなたかのお役に立てればと開業しました。開業時には夢チャレを使いまして、とても使いやすかったです。個人の起業を町がここまで応援してくれるのは本当にすごいことだと思っています。商工会が経営支援として伴走してくれたのも心強かったです。

これからはもっと地元の方に来ていただけるようにしたいです。南小国の女性は働き者の方が多いので、エステを通してひと時の癒しと、美と健康づくりのお手伝いができれば嬉しいです。

…お米も作られていると聞きました。

農薬も肥料も使わない自然農法でお米を作っています。農業初心者でしたが、耕作されなくなった田んぼをお借りし、周りの方々に学ばせていただきながら自分達の理想とするお米づくりをしています。

苗づくりもはじめ、今は貸していただけの田んぼを探しています。使わない田んぼでお米を作るとは、風景づくりにも繋がるかと思っています。

移住後、南小国に住めているお礼の気持ちで社協に寄付をしております。最近はお米と納税にお米を出品しています。ふるさと納税は寄付額の半分は町へ寄付されるので、制度を通して大好きな南小国に貢献できればと思っています。

写真提供…立脇由紀さん／取材・文…森永一美

編集後記

午年の幕開けも晴天に恵まれ、皆様穏やかな新年を迎えられたことと思います。

しかしながら、世界に目を向けると、ロシアのウクライナ侵攻は止まらず、中東情勢や中国、アメリカの近隣国への脅威など、不安定な状況が続いており、今後の状況次第では、私たちの生活に大きな影響を与えることも十分考えられます。

そんな中、年末年始にかけてサッカーやラグビー、バレーボールや駅伝など、高校生が大きな感動を与えてくれました。決められたルールの中で、最後まで戦い抜く姿こそ、スポーツが人々の心を動かす要因であると思います。

この議会だよりが皆様の手元に届く頃には、ミラノ・コルティナ冬季オリンピックが開催されていることでしょう。選手それぞれが、栄誉をかけて戦う。しかし、最後にはお互いを讃え合う、その瞬間こそスポーツのもつ美しさ、スポーツのもつ力ではないでしょうか。

多くの人々が、お互いを認め合い、尊重することができれば、平穏な日々が戻ると思うのですが。

(井野和哉)

発行責任者

議長 井上 則臣

広報調査対策特別委員会

委員長 森永 一美

副委員長 井野 和哉

委員 穴井 秀房

委員 北里 桂一